



みえるらべる

を手にとってみませんか？

「みえるらべる」は環境にやさしい農産物を
「みて」「えらぶ」ことができます。

農業者の皆さんの未来につながる持続可能な農業
の取組を応援しませんか。

たとえば、地域の慣行栽培に比べて・・・

- 温室効果ガスを20%以上削減！
- 化学農薬・化学肥料を5割以上削減
& 冬期湛水(ふゆみずたんぼ)を実施！

など、農業者の皆さんの取組に応じて★～★★★までの等級を表示しています



お問合せ先 関東農政局生産部環境・技術課 みどりチーム

Tel: 048-740-0451 Email: mieruka_kanto@maff.go.jp

農林水産省
関東農政局



販売しているお店は
HPでも確認できます

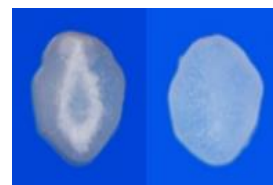
わたしたちの身近に起きていることは・・・

- ・**温暖化**の進行による気温の上昇
- ・**豪雨**発生回数の増加
- ・**災害**の激甚化、頻発化

→ 農業分野にもさまざまな影響がでています



台風により被災したハウス
(令和元年房総半島台風)



左側のお米は高温により
白く濁り、品質が低下

農林水産業は、資源の循環利用や生物の保全など多面的機能を発揮しており
環境にやさしい産業といえる一方で メタンなどの温室効果ガスを発生させ※

環境に負荷を与えている側面もあります。 ※水田、家畜のげっぷや排せつ物などから、メタンなどの温室効果ガスが発生しています

農業分野での取組は・・・

このような問題を引き起こす温室効果ガスの発生を抑え、持続可能な食料システムを確立するため、
農林水産省では、環境にやさしい生産活動に取り組む生産者を応援しています！



有機栽培水田



バイオ炭の施用（炭素貯留）

バイオ炭を農地にすき込むことで土壌中に炭素が貯留され、大気中への温室効果ガスの放出を削減することができます。



ふゆみずたんぼ（生物多様性保全）

稲刈りが終わった水田に冬期も水をはることによって冬場に水場に来る生きものの生態系を向上させます。

今、わたしたちにできることは・・・

- ・食品ロスを減らす！
- ・身近な食材をえらぶ！

そして、

- ・環境にやさしい食品をえらぶ！



生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちにつなぐために
環境にやさしい食品を手にとってみませんか？

関東農政局食ミラプロジェクト～食と環境を未来の子どもたちへ～
若手職員が未来につながる持続可能な農業・食に関する情報発信や、
農業者・民間事業者等との交流に取り組んでいます。ぜひご覧ください！



SYOKUMIRA_MAFF.KANTO